

## ちょっとびっくりした話

### —子どもの成長—

内山 美貴

(浜松日本語学院日本語教師養成講座)

最近ちょっとびっくりしたことは、10歳の息子に足のサイズを抜かされたことです。体も全体的に大きくなっており、急激な成長に驚かされています。本人は全く気にしていない様子ですが、一緒にお風呂に入ることもためらってしまうほどです。

小食な息子がなぜ最近になって急激に成長しているのか不思議に思っていたのですが、兄弟の会話から察するに学校の給食は毎日おかわりをしているようです。また、私が浜松日本語学院に通い始めてから、週末は夫の実家に預けることが増えたのですが、そこでも“ばあば特製ごはん”をたくさん食べているようです。今まで小食だと思い込んでいた息子ですが、実は私の料理が口に合わないだけだったことが判明しました。生まれた時は、50cm程しかなく、生後1カ月は保育器で育った息子に身長を越される日もそう遠くないと思うと非常に感慨深いです。一方で、世の中の流れとは逆行してスパルタ教育を行ってきた自覚があり、いつか逆襲されるのではという不安もあります。

今後は息子の成長を温かく見守りつつ、フルコンタクト空手またはキックボクシングを習って体を鍛えておきたいと思っています。

(477 字)

(2022.6 たどくのひろば掲載)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.